

# 事業の基本的な考え方と方向性の整理

## 事業の基本的考え方

■目的

**震災の記憶や教訓を風化させず、確実に後世に伝えていく。**

※「いわき市震災メモリアル事業の概要について」平成27年6月2日第一回検討会議資料より

災害の教訓、記録等を収集・整理し、正しく後世に継承するとともに、減災教育に活かす。

■視点

追悼・鎮魂



危機意識や防災意識の醸成



震災の記録の保存と継承

■方向性

市内各地区の被災構造物等とともに、ハード(拠点施設整備)およびソフトの各施策を一体的に展開し、市全体としてのネットワーク化を図る。



## いわき市における震災の経験と事業の方向性

■事業の基本的性格付け

震災を超えて、震災の記憶と教訓をいわき市の未来に活かしていく、

**いわきの復興と飛躍に向けた“みらい事業”**

追悼と鎮魂を図るとともに、震災の経験を貴重な資源として、災害に強く、震災前にも増して活力にあふれたいわき市を“オールいわき”“オールジャパン”で創っていく、「未来志向」の事業を展開。

■“みらい事業”視点から見たいわき市の地域性と震災の経験



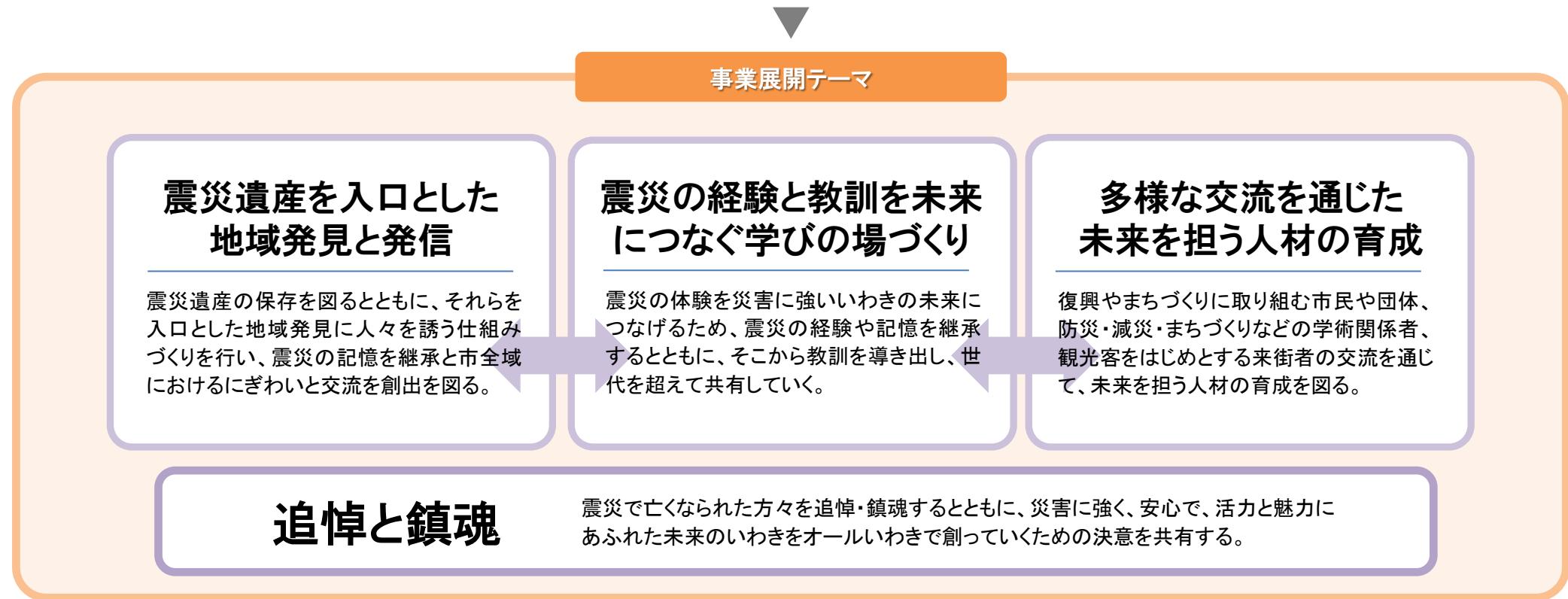
事業推進の方向性

**市内各地域の多様な背景と物語を持った震災遺産、震災の記憶と教訓、復興への営みをみらいへつなぐ**

事業コンセプト

いわきの多彩な人、地域、震災遺産がつながり、未来へ向けて活動が進化していく、  
**いわきを起点とする震災メモリアルネットワークの形成**

いわきの人、地域、震災遺産をつないだ継続的で発展性のあるダイナミックな事業展開



事業展開の考え方

**いわき全域および市内外をつなぐ“3つのネットワーク”の育成と連携による事業展開**

1: 震災遺産・施設ネットワーク

遺産や拠点を巡ることで震災の記憶と経験をリアルに学ぶと共に関わりの地域性を発見する。

2: いわき知のネットワーク

震災を通してつながった人々や組織の関係性を発展・強化させ、様々な活動の自律的発展を支える。

3: 地域資産ネットワーク

震災遺産を起点に各地域の多彩な文化や歴史をつなぎ、地域再発見を促すとともに市内外に発信する。

## 事業展開イメージ～事業連携の考え方

いわき市全体および市内外を活動のフィールドとして捉え、3つのネットワークの活動を推進。

それらを中核拠点機能でつなぎ、相互連携と活動の支援を図り、3つのネットワークの相乗効果を実現。

震災前に増して「活力と魅力にあふれたいわき」づくりに向けて、子どもから高齢者、一般の市民からNPO、研究者まで、人と地域が多彩につながり、活動する地域づくりムーブメントを形成。

### 地域を知り郷土愛を深める

#### 地域資産ネットワーク

- ・いわき地域復興センター
- ・3.11被災者を支援するいわき連絡協議会(みんぷく)
- ・いわきフェニックスなど

### 事業活動を支える

#### いわき知のネットワーク

- ・復興メモリアル公園
- ・国営祈念公園
- ・イノベーションコースト構想
- ・国立国会図書館アーカイブ(ひなぎく) など

### 震災の記憶と経験を学ぶ

#### 震災遺産・施設ネットワーク

※サンシャイン博 南部コースの活用

田人地区断層  
田人ふれあい館  
いちご狩り

田人石割桜

自然地形と構築物の関係から  
いわきの歴史を探る

岩間地区防潮堤

常磐炭鉱通気口  
日産自動車いわき工場

いわき市勿来関文学館

いわき復興の道のりと  
連携する市民の営為を知る

津波被害の猛威から  
原理や防災のあり方を学ぶ

※サンシャイン博 復興防災コース

環境水族館アクアマリンふくしま

いわき・ら・ら・ミュウ「いわきの東日本大震災展」

三崎公園  
いわきマリンタワー

喪われたコミュニティの歴史と  
地域再建の未来を考える

平薄磯地区豊間中学校(解体)

美空ひばり遺影碑  
いわき市暮らしの伝承館

絵本美術館まどのそと  
またむこう

道の駅よつくら港

海竜の里センター

公民館機能を核にした  
コミュニティの再興を促す

※サンシャイン博 復興防災コース

久之浜地区稲荷神社

濱風商店街

富岡と結ぶ震災ツアー  
福島復興最前線を知る

波立海岸

殿上崎

市ノがんばっぺいわき  
スタディーツアーとの連携  
いわき復興支援観光案内所

久之浜地区防災拠点施設

いわき市アンモナイトセンター

### ネットワークのハブ 震災メモリアル中核拠点機能

学習・継承

情報発信

追悼・鎮魂

交流・連携

収集・保存

県・その他自治体

- ・環境創造センター
- ・震災アーカイブ
- ・宮城県、岩手県、茨城県など

学術・研究団体

- ・いわき明星大学  
- 震災アーカイブ室  
- はまどおりの記憶
- ・東日本国際大学
- ・いわき地域復興センター
- ・東北大学など

企業・NPO  
その他団体等

国

※図中の名称や活動記述は、方向性を示すために参考として記述したものです。

## 事業展開イメージ～ロードマップ

地域におけるネットワークの基盤形成、連携、発展の3つの段階で事業を捉え、市民を原動力として、持続的・自律的に成長・発展していく事業展開を想定。

### ネットワークの基盤形成 (拠点施設整備前)

現在

- 遺産の保全・整備および資料等の収集
- 中核人材の育成・参加
- 地域内外の人・組織ネットワークの整備

- 基本構想
- 基本計画策定

- 拠点施設の施設設計および事業・運営・活動計画策定
- 市民への広報活動推進

### ネットワークの連携 (拠点施設整備後)

拠点施設完成

- 学習、発信、交流活動の推進
- 震災遺産等の保存および調査研究
- いわきからの震災の教訓の発信
- 震災前に増して魅力的ないわきの発信

### ネットワークの発展 (拠点施設整備後)

- 地域による自発的・自立的な活動の支援
- 全国および世界に向けた発信・交流活動の推進